



瀬戸市職員 行動指針

ハートを持って行動します。

「言葉」に「行動」が伴うこと
それが市役所の文化となる。

瀬戸市長 保藤保徳



「市民のため・市のため・市役所のために」
職員はどうあるべきなのか、
全職員が今一度見つめ直し、第6次瀬戸市
総合計画の「将来像の実現」と、「3つの都市
像の達成」に向けて、言葉だけではなく、職員
が一丸となり、全力で取り組んでいけるような
「職員の行動指針」を全職員で考えました。

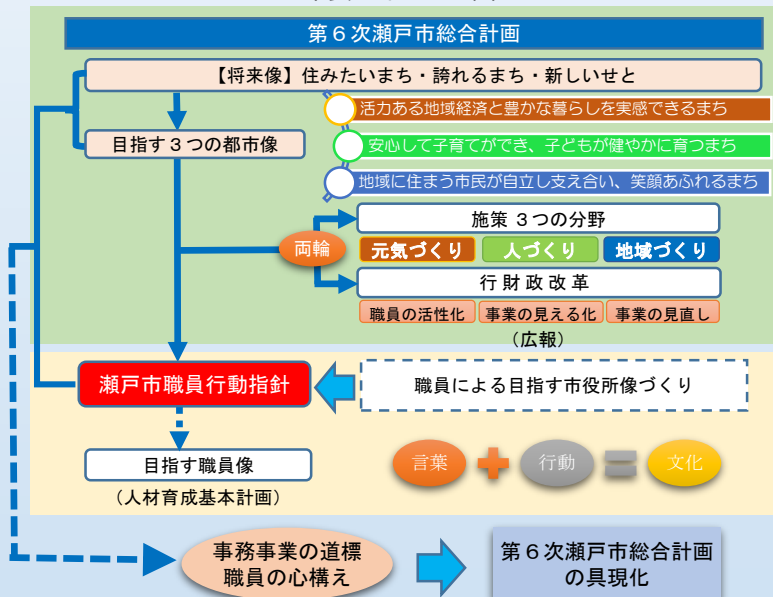
瀬戸市職員行動指針策定チーム(企画会議)
事務局: 行政管理部人事課

◆策定目的

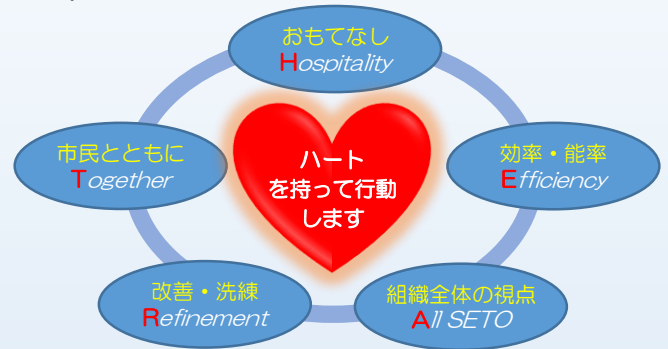
市民の皆さんの満足度を高める市政をつくり上げていくためには、職員の一人ひとりが市民のため地域のため持てる力を最大限に発揮することが何よりも重要です。

この指針は、第6次瀬戸市総合計画における「将来像」や「都市像」とともに市役所の事務事業を進めていく上での「道標」、職員自身が我が身を振り返る「心構えの基本」としていきます。

<市長のイメージ図>



◆策定方法



行動指針の策定は、ゼロベースで新たに作るのではなく、日頃、市役所で行われている意思決定の根底の部分に着目し、「既に存在している価値観」や「行動の前提になっているルール」を言語化することにより、市職員として大切にしなければならないことを浮き彫りにすることが必要だと考えました。

策定チーム（企画会議）のメンバーから様々なアイデアが飛び交う中で、共通してその根底にあるのは、「心（ハート）を持って行動すること」との意見で一致し、全体のキャッチフレーズとしました。

このキャッチフレーズのもと、市職員が仕事をするうえで大切にしなければならないこととして、「おもてなし」、「効率・能率」、「組織全体の視点」、「改善・洗練」、「市民とともに」という5つの行動指針を掲げました。

そして、この「行動方針」に向けた「具体的な行動内容」のアイデアを全職員から募集し、最終的には全職員による投票により決定しました。

キャッチフレーズ

“ハートを持って行動します。”

～おもてなし～

Hospitality (ホスピタリティ)

市民の方から「気持ちの良い対応」を受けたと感じてもらうための具体的な行動内容
 私たちは、笑顔と明るいあいさつ、丁寧な言葉づかいを心がけ、市民に愛される職員を目指します。

～効率・能率～

Efficiency (エフィジェンシー)

仕事の効率・能率を向上させるための具体的な行動内容
 私たちは、職員同士で助けあい、柔軟な働き方ができる環境を作ります。

～組織全体の視点～

All SETO (オールセト)

市役所全体としての視点を持つための具体的な行動内容
 私たちは、ともに働く仲間を尊重し、助け合いながらチームとして何事にも全力で取り組みます。

～改善・洗練～

Refinement (リファインメント)

業務の改善・洗練のための具体的な行動内容
 私たちは、前例にとらわれず、変化をいとわず、広い視野をもってチャレンジを続けます。

～市民とともに～

Together (トゥゲザー)

市民と行政のツナギ役となるための具体的な行動内容
 私たちは、柔軟な思考力のもと、市民の目線に立ち、市民から信頼される職員をめざします。

◆策定スケジュール

